第15号様式(第2条関係)

年　　月　　日

　郡山市保健所長

管理者　住所

氏名

診療用高エネルギー放射線発生装置備付届

　下記のとおり、診療用高エネルギー放射線発生装置を備えるので届け出ます。

記

1　病院又は診療所の名称及び所在地

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 |  |
| 所在地 | 電話番号 |

2　診療用高エネルギー放射線発生装置に関する事項

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 製作者名 | |  |
| 型式及び台数 | |  |
| 定格出力 | 電子線 | メガ電子ボルト(MeV) |
| エックス線 | メガボルト(MV) |

3　診療用高エネルギー放射線発生装置を使用する医師、歯科医師又は診療放射線技師

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 職種 | 放射線診療に関する経歴(免許登録番号及び登録年月日) |
|  |  |  |

4　予定使用開始時期

　　　　　　年　　月　　日

5　診療用高エネルギー放射線発生装置の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発生管容器の漏えい放射線量が利用線錐の放射線量の1／1000 | 以下・超える | |
| 照射終了直後の不要放射線からの防護措置 | 有・無 | |
| 放射線発生時の自動表示装置 | 有・無 | |
| インターロック装置 | 有・無 | |
| エックス線装置の併設 | 有・無 | |
| 移動型の場合の保管場所 |  |

6　診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 使用の場所 | | |  |
| 建築物の構造 | | | 耐火構造・不燃材料・その他(　　　　　　　　　　　　　　) |
| 使用室の防護物の概要 | 区分 | | 構造、材料及び厚さ(センチメートル) |
| 天井 | |  |
| 床 | |  |
| 周囲の画壁等 | 東 |  |
| 西 |  |
| 南 |  |
| 北 |  |
| 出入口の扉 |  |
| その他の開口部 | 有(用途　　　　　　　　　　　　　　)・無 |
| 操作室 | | | 有・無(理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 監視用モニター等 | | | 有・無 |
| 出入口の数 | | | 通常口　　　箇所・その他(用途　　　　　　　　　　　　　) |
| 使用室の標識 | | | 有・無 |

7　診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | | | 有・無 |
| 使用中の表示 | | | 有・無 |
| 画壁等外側の実効線量が1ミリシーベルト／週以下となる措置 | | | 有・無 |
| 管理区域 | 管理区域を設ける場所 | | 別添図面のとおり |
| 境界における実効線量が1.3ミリシーベルト／3月以下となる措置 | | 有・無 |
| 立入制限措置 | | 有・無 |
| 管理区域の標識 | | 有・無 |
| 敷地の境界等 | 敷地内居住区域及び境界における実効線量が250マイクロシーベルト／3月以下となる措置 | | 有・無 |
| 入院患者の実効線量(診療により被ばくする放射線を除く。)が1.3ミリシーベルト／3月以下となる措置 | | 有・無 |
| その他 | 取扱者の被ばく測定器具 |  | |

備考

　1　隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の図面(平面図及び側面図)を添付すること。

　2　使用室の図面は、照射方向、発生管の中心から天井、床及び周囲の画壁等の外側までの距離(メートル)並びに防護物の材料及び厚さを記入した50分の1又は100分の1の縮図とすること。

　3　管理区域の標識等の位置を使用室の図面中に記入すること。

　4　漏えい放射線測定記録は、届出に添付不要であるが、測定記録を保管しておくこと。